

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括表

事業名	民話などの文化遺産を後世に伝える事業
事業主体 (連絡先)	岡田地区まちおこし協議会 松本市岡田岡田町517-1
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,051,910.円(うち支援金 749,000.円)

事業内容

地域に伝わる民話や石造文化財などの忘れられている素朴な文化財を後世に伝える事業を実施した。

- ・民話フェスティバルの開催 11月27日
- ・民話講演会の開催 8月～10月
- ・民話紙芝居の制作 7月～3月 /
- ・道祖神を探すウォークラリー 7月3日
- ・山城と神社を巡るウォーキング10月2日



【民話フェスティバル 民話劇】

【目標・ねらい】

- ①民話フェスティバルの入場者の拡大
- ②民話紙芝居の制作・上演による伝承
- ③ウォーキングによる史跡の紹介

事業効果

- ① 民話フェスティバルには大人80名の入場を予定したが110名入場があった。
- ② 民話フェスティバルの開催は報道機関がともに大きく扱った。特に地元のテレビ松本が全体を2時間番組に編集して数回にわたって放送した。
- ③ 私たちの紙芝居の制作・上演によって民話を後世に伝える活動が広く知られることになり、松本城が来年度4月から5月に開催される太鼓門の特別公開に紙芝居の制作で民話を伝える状況を写真パネルで紹介されることになった。
- ④ 長野市の出版社が今秋に出版する善光寺街道の民話に切絵で挿絵を担当することになった。

※ 自己評価 【A】

【理由】

- ・民話フェスティバルと講演会への入場者が予定より多かった。
- ・紙芝居の制作・上演による民話を後世に伝える活動が評価された。
- ・今年度の民話フェスティバルへ出演した団体は来年度の出演を表明している。

今後の取り組み

民話フェスティバル開催を継続して行くためには多額の費用を必要とするためにスポンサーの確保、主催団体の強化、PR方法の検討などの課題を克服することが多くの民話愛好者の期待に答えることと思う。

民話紙芝居の制作は地域にこだわらず松本城の民話を手始めにこの地方に伝わる民話を対象に制作して行く。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある